

特別講演会

Special Seminars

平成26年度特別講演会演題

1. 特別講演会

| 講師名 | 所属 | 講演名 | 講演日 | 担当部 |
|---|--|--|-------------|----------|
| Guenter Oberdoerster | ロッチェスター大学 医学部教授 | From Exposure-Dose-Response Data to Hazard and Risk Characterization of Inhaled Nanomaterials | 平成26年4月3日 | 毒性部 |
| Dr. Anthony M Lynch | Safety Assessment, R&D Platform Technology & Science, GlaxoSmithKline | 化学物質安全性に関する3つの話題 (Three Topics in Genetic Toxicology on Chemical Safety Evaluation) | 平成26年6月23日 | 安全情報部 |
| 平澤 典保 | 東北大学大学院薬学研究科 教授 (生活習慣病治療薬学分野) | 化学物質とアレルギー | 平成26年7月14日 | 医薬安全科学部 |
| 樋口 哲夫 | HiSS Lab., 日本電子株式会社 | GC/MSの基礎講座 - MSは何を我々に語りかけているのか? - | 平成26年7月18日 | 食品添加物部 |
| 鳥田 隆 | 日本医科大学 特任教授・名誉教授 | 遺伝子治療の最近の動向 | 平成26年7月23日 | 遺伝子細胞医薬部 |
| 高津 聖志 | 富山県薬事研究所長 富山大学大学院 医学薬学研究部教授 | 免疫・炎症制御を活用した和漢薬の薬効解明への挑戦 - 甘草成分によるインフラマソームの制御と肥満抑制効果 | 平成26年9月30日 | 生薬部 |
| 福田 真嗣 | 慶応義塾大学先端生命科学研究所特任准教授 理化学研究所統合生命医科学研究センター | 腸内エコシステムの制御による新たな健康維持戦略 | 平成26年10月3日 | 衛生微生物部 |
| Tim Anderson | Global Pfizer | 企業における新薬発見と開発 - 有望新規医薬品候補の利害評価のための全体論的アプローチ Mechanistic investigation of the non-clinical and clinical safety findings. | 平成26年10月29日 | 毒性部 |
| 萩原 正敏 | 京都大学医学研究形態形成機構学 教授 | アカデミアにおける創薬発見と開発 - セレンディピティを最大限に高めるには | | |
| パネルディスカッション 上記講師/堀井 郁夫/北嶋 聡 (小島 肇)/(林 裕造) | | テーマ: いかに毒性を制御しつつ最良の薬効を得るか / アカデミアと企業の創薬パートナーシップの新しい概念 | | |
| 伊藤 祥輔 | 藤田保健衛生大学医療科学部 名誉教授 | チロシナーゼ酸化によるオルトキノンの生成とその生化学的意義 - ロドデノール含有化粧品による白斑発症との関連から - | 平成27年1月13日 | 生化学部 |
| 李 禎翼 Jeong Ik Lee | KONKUK UNIVERSITY College of Veterinary Medicine Regenerative Medicine Laboratory Associate Professor | 韓国の再生医療製品の現状 | 平成27年1月28日 | 医療機器部 |

2. 所内セミナー

| 講師名 | 所属 | 講演名 | 講演日 |
|-------|-------------|--|------------|
| 中垣 俊郎 | 企画調整主幹 | 国立衛研を取り巻く環境の変化 - 健康医療戦略推進法案など - | 平成26年6月4日 |
| 小林 憲弘 | 生活衛生化学部第三室長 | 水道水の安全性確保のために - 検査法開発と汚染事故対応 - | 平成26年11月6日 |
| 手島 玲子 | 食品部長 | 国立医薬品食品衛生研究所での36年をふりかえって - 免疫毒性とアレルギー研究を中心に - | 平成27年3月2日 |
| 堤 智昭 | 食品部第二室長 | 食品中の放射性物質に関する研究 - 福島第一原子力発電所事故への対応 - | 平成27年3月16日 |